

2005. 10. 18(火) JICA中国事務所とのTV会議授業
 についての新聞記事

海外協力隊員とTV電話
 和光国際高校の授業



中国で活躍している青
 年海外協力隊員から中国
 の事情を学ぶと、和光
 市の和光国際高校で18
 日、テレビ電話を使った
 交流授業があった。写
 真。同校によると、中国
 には有人宇宙船「神舟6
 号」の打ち上げに成功す
 るなど先進国のイメージ
 がある一方、1日10時以
 下で暮らす貧困層が多い
 といふ現状、日本の国際
 貢献について知ってもら
 うのが狙いという。

← 2005. 10. 19(水)
 朝日新聞

2005. 10. 19(水) →
 毎日新聞

JICA隊員と
 テレビ会議
 和光国際高
 生徒120人
 県立和光国際高校(廣
 辺博校長) 外国科の1・2
 9人が18日、国際協力機
 構(JICA) 中国事務
 所(北京市)とインター
 ネットで結び協力隊員と
 テレビ会議をした。写
 真。
 2、3年の総合学習の
 時間を利用し、生徒たち
 は大型スクリーンに映し
 出された、▽中国湖南省
 長沙市の湖南師範大学の
 日本語教師、飯牟礼結一
 さん(36)▽広西自治区の
 防城港市人民教師養護師の
 小嶋里見さん(26)の2人
 と話した。飯牟礼さんら
 は、スライドで中国への



派遣の経緯や、生活の様
 子を聞きながら国際交流
 について話した。また、
 松本秀世君(18)が中国語
 読みで自己紹介した後、
 下岡愛美さん(18)が中
 国の一人っ子政策の実態
 や、小泉首相の靖国神社
 参拝への現地の反応など
 タイムリーな問題を次々
 と質問し、派遣隊員がて
 いねいに答えていた。
 【藤川敏久】

中国のJICA
 事務所とテレビ電話
 和光国際高
 県立和光国際高校(和光市広
 沢)の外国語科の生徒たちが18
 日、テレビ電話を通じて中国・
 北京市にある国際協力機構(J
 ICA) 事務所の青年海外協力
 隊員と交流、日中間隔な交流に
 ついて話した。
 午前、午後3回に分けて行わ
 れた。JICA側から湖南省で
 日本語教師として働く飯牟礼
 結一さん(36)と、広西自治区の養
 護師、小嶋里見さん(26)が参加
 した。飯牟礼さんは中田都市郎
 と農村の貧富の差やJICAが大
 量に発生する汚染問題などを写真
 を交えて紹介、「実際、外国で
 の生活を体験することで新しい
 価値観が生まれてくる」と話し
 た。
 また、小泉首相の靖国神社
 参拝問題にも触れ、「なぜ中
 国の人たちがむきになるのか考
 えてみてほしい」と話した。
 授業を受けた1年生の金森祥
 子さん(17)は「北京や上海など
 経済発展著しい姿だけでは
 中国の現状を学んだ。私も将来
 海外に出て国際理解を深めたい
 と思った」と話した。

← 2005. 10. 19(水)
 読売新聞